

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイ）

事業所名	チャイルドサポート清田		公表日	2026年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		活動内容を分けて十分な活動が行えるように工夫して利用しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		全てのスタッフが全ての児童を見れるよう声がけや連絡ノートで情報共有できるようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		現在スロープなど使用する児童はいないが安全に行動できるよう配慮しています。	全てにおいてバリアフリーではありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		活発な子と静かな活動がしたい子で部屋を分けるなどの対応をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		クールダウンや個別対応ができる部屋があり状況に応じて使用可能としています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3		広く職員が参加しているとは思わない。個別支援計画を元にPDCAを考えていますが全ての職員が意識しているとは言えないので今後はスタッフみんなが参加できるよう働きかけていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		送迎時や面談を通してご意見を把握する時間を設けております。内容をスタッフと共有し改善に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		会議やミーティング、振り返りで意見を把握して業務改善へ向けて努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8		第三者による外部評価は現在行っておりません。今後検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		スタッフが様々な研修を受講し、終了した受講内容を社内研修として共有しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		市の指針に沿って評価表を用いている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		面談を通し、ニーズの確認と適切なアセスメントを行い、スタッフ同士で意見交換を元に計画を作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		日々のミーティングや会議の中で共有を行い職員間での意見交換を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画はスタッフ全員が共有し、いつでも確認が取って日々の計画に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		自由度があり児童に合わせて柔軟に対応するよう努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインの各項目を踏まえ、アセスメントや保護者様のご意向に沿った適切且つ具体的な支援内容を設定しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		毎日ではないがスタッフと会議の議題として支援内容について話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		記録に活動内容を書き留め工夫して活動するよう行っています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		学習などは個別に対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		その日に行われる活動の役割分担を決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		活動内容で意欲的に参加できなかった時にはどうしたら子供たちが楽しく参加できるか話し合い改善するよう努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		スタッフみんなが共有するようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングを行い児童の状況や支援内容を確認し保護者のご意見や児童の状況を踏まえながら見直しの判断をおこなっております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		管理者、児発管が主に参加しているが状況に応じて対象児童の状況を理解しているスタッフが同行しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		問題などあった時は連携を図って対応しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		求められた時には利用日の活動内容を記載した用紙を保育園に提供して内容を共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学時の移行時保護者から支援内容の情報共有をしてほしいと言われた時には行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	情報共有の連携を図っております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		他事業所と課外活動などの交流がもてるよう設けております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や面談を通してご意見を把握する時間を設けております。内容をスタッフと共有し改善に努めております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		情報の提供は出来ていますが研修の案内などしかできていません。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時や負担額が変更になった時には説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		面談を行い作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		児発管が保護者様に説明をして同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		時間外でも保護者様からの相談や面談など受けられるよう対応しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		感染症対策の為交流する機会はない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	時間外でも保護者様からの相談は受けられるよう対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	毎月行った活動の写真などホームページに掲載しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	スタッフ個々に注意し取り扱っております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	情報過多にならないよう分かりやすく必要に応じて絵カードなどを使用し伝わりやすい方法を確認しながら伝達を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	ご近所さんが活動などを見に来ることはあります。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	毎年研修を行っています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	毎年研修をし子どもたちと一緒に避難所までの行き方の訓練をしています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	ご契約時にお子様の状況の確認を行い必要な対応や配慮について職員間で情報の確認を行っております。職員全員、与薬についての扱について研修を行っています。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	アレルギー調査を行っています。今現在アレルギーで医師の指示書に従うお子さんはいません。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	安全管理上必要な研修、訓練を実施し、スタッフが安全管理に対しての理解を高め支援を行っております。	
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	毎年避難場所のお手紙と、子どもたちと避難場所への訓練を行い保護者様にお伝えしております。	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	些細な出来事でもスタッフで共有をして再発防止に向けた取り組みを行っております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	定期的な研修や虐待防止委員会を通してスタッフが虐待防止への適切な対応を行っております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	やむを得ず身体拘束を行う場合の条件についてしっかりと理解し支援を行っております。ご家族への説明は利用契約時にご説明し了解を得、支援計画書に記載しております。		